

令和7年度計画変更

計画年度	平成26年度
計画変更年度	令和7年度
都道府県	静岡県
所在市町村	沼津市

土地改良事業変更計画書

県営土地改良事業（水利施設等保全高度化事業（畑地帯総合整備事業（畑地帯総合整備型）））

にしうら^にみかん^たちほこ^う宇地^区

事業主体	静岡県
------	-----

目 次

第1章 目 的	1	第2節 営農計画及び土地利用計画	14
第2章 地域及び地積	1	1. 営農計画の概要	14
第1節 地 域	1	2. 土地利用区分	14
第2節 地 積	1	3. 作付方式	15
第3章 現 況	2	4. 生産計画	15
第1節 気象及び海象	2	5. 労働改善計画	16
1. 一般気象	2	6. 級地別土地利用区分	16
2. 特殊気象	2	7. 土地配分計画	17
3. 海 象	3	第3節 用水計画	17
第2節 土地状況	3	1. 計画基準年	17
1. 地形、土壌及び浸食の程度	3	2. 計画かんがい方式	17
2. 土地分類	4	3. 計画用水系統	17
3. 土地利用の状況	4	4. 計画用水量	17
4. 土地所有の状況	5	5. 水源計画	18
第3節 水利状況	5	第4節 排水計画	21
1. 用水状況	5	1. 計画基準雨量	21
2. 排水状況	7	2. 計画排水方式	21
3. 河川状況	8	3. 計画排水系統	21
第4節 道路現況	9	4. 計画排水量	21
1. 道路概況	9	5. 排水対策	21
2. 主要道路一覧表	9	6. 湛水検討	22
第5節 地域農業の概況	10	第5節 道路計画	22
1. 産業別就業人口	10	1. 道路及び索道	22
2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の 分散状況並びに専兼業別農家数	10	2. 路線配置図	22
3. 動力農機具及び主要家畜頭数	11	第6節 農用地造成計画	23
4. 主要作物作付状況	12	1. 農用地造成計画	23
5. 農業の動向	13	2. 土壌改良	23
第6節 地域環境の概況	13	第7節 洪水調節計画	23
第4章 一般計画	14	1. 計画基準雨量	23
第1節 事業計画の要旨	14	2. 計画洪水量及び調節量	23
1. 要 旨	14	3. 貯水池	23
2. 事業別面積	14	4. 洪水調節検討	24
		5. 管理計画	24
		第8節 干拓計画	24

第9節 農用地整備計画	24	第6節 干拓施設	31
1. 区画整理	24	1. 堤防	31
2. 暗渠排水	25	2. 潮止め	31
3. 客土	25	3. 附属施設	31
4. 農地保全	25	4. 埋立	32
第10節 老朽ため池改修計画	26	第7節 農用地整備施設	32
1. 洪水吐改修計画	26	1. 区画整理	32
2. 堤体補強計画	26	2. 暗渠排水	33
3. 取水施設改修計画	26	3. 客土	33
第5章 主要工事計画	27	4. 除礫	33
第1節 用水施設	27	5. 農地保全	34
1. 貯水池	27	第8節 老朽ため池改修施設	35
2. 頭首工	27	1. 貯水池	35
3. 揚水機	27	2. 堤体補強施設	35
4. 用水路	27	第6章 附帯工事計画	35
5. その他かんがい施設	28	第7章 工事の着手及び完了の予定時期	35
第2節 排水施設	28	第8章 環境との調和への配慮	36
1. 排水水門	28	第9章 換地計画の概要	36
2. 排水機	28	第1節 換地計画を作成する上での 基本的な考え方	36
3. 排水路	28	第2節 換地区の設定	36
4. その他排水施設	28	1. 換地区の名称, 所在, 面積	36
第3節 道路及び索道	29	2. 換地区を設定する理由	36
1. 道路	29	第3節 換地計画樹立の基本方針	37
2. 索道	29	1. 従前の土地の面積の基準	37
第4節 農用地造成	29	2. 用途別予定地籍	37
1. 農用地造成	29	3. 農用地集団化の方針	38
2. 土壌改良	30	4. 非農用地の換地方法	38
第5節 洪水調節施設	31		
1. 貯水池	31		
2. 頭首工及び導水施設	31		
第4節 土地の評価及び精算の方法	38		

1. 評価の方法	38
2. 精算の方法	38
第5節 換地計画樹立の年度計画	38
第6節 換地処分の時期に関する特則	38
第10章 事業費の総額及び内訳	39
第11章 効 用	40
第12章 関連する事業	40
第13章 現況・計画図面	40
1. 現況平面図	40
2. 計画平面図及び土地利用計画図	40
3. 主要構造図	40

第1章 目 的

本地区の位置する沼津市は、地形的に北部の山麓地域、中央の平坦地域、南部の三浦（静浦、内浦、西浦）地域のおおむね3つに分けることができる。本地区はそのうちの南部地域に位置し、柑橘専作地帯となっている。特に近年は高品質みかんの栽培に力を入れ、高い評価を得ている状況であり、農業経営に明るい兆しが見えてははじめ農家出身の非農業従事者が実家に戻り、後継者として農業を継ぐなど事例が増えてきている。

しかし、本地区内の道路は幅員が2.0m～3.0mと非常に狭いため、農作業車のすれ違いに支障を来たすなど営農に大きな支障となっている。農作物の防除についても、谷溪等を水源とした給水スタンド等の用水施設を利用しているが、施設の老朽化が進展している状況である。また、果樹は鳥獣の被害を受けている。

このため、道路と用水路、鳥獣害防止柵を整備し、営農労力の軽減と農業経営の安定を図ることを目的とする。

第2章 地 域 及 び 地 積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
水利施設等保全高度化事業（畑地帯総合整備事業（畑地帯総合整備型））	静岡県 沼津市西浦立保・西浦古宇・西浦久連

第2節 地 積

(第2表)

事 業 名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
水利施設等保全高度化事業 (畑地帯総合整備事業(畑地帯 総合整備型))	沼津市		84.1					(うち、農道受益78.5ha、 用水受益53.4ha、 鳥獣害84.1ha)
合 計		-	84.1	-	-	-	-	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	三島観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	S.56年～H.22年	5月～9月	10月～4月		
平均気温(℃)		23.5℃	11.6℃	16.5℃	
降水量	平均(mm)	1,326mm	999mm	2,325mm	
	基準年(mm)				
降水日数	平均(日)	55日	52日	107日	
	基準年(日)				
根雪期間		1月12日～2月9日		28日間	
無霜期間		3月24日～11月27日		248日間	
最多風向		NW	最大風速 (風向)	瞬間最大 24.1m/S	最大風速発生年月日 1959年8月14日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 三島観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	
観測期間 S.6年～H.24年																
最大日雨量(mm)	316.0	S13.6.29	—	310.5	H19.9.6	—	271.0	S45.6.15	—	268.0	S49.7.8	—	254.1	S23.9.16	—	
最大時間雨量(mm)	81.5	H1.7.29	—	75.0	S9.6.29	—	73.4	S20.8.23	—	72.9	S39.9.9	—	72.0	H3.8.20	—	
最大連続雨量(mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続干天日数(日)	49	H17	—	46	S17	—	41	H23	—	32	S11.S41	—	31	S39	—	

3. 海 象

※該当なし

(第3表-3)

観測所名		既往最高潮	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低潮	備考
観測期間	年～年	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
実測値									

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他							受益地標高(m)		備考		
		傾斜区分	1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計		最高	最低
											8°～10°	10°～15°	8°～15°						
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))	面積 ha						0							84.1	84.1	275.0	2.0		
	比率 %						0							100	100				
合計	面積 ha						0							84.1	84.1				
	比率 %						0							100	100				

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表									面 積 (ha)		備考		
	土 壤 断 面									事 業 名				
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土 性				泥炭層, 黒泥層 及び グライ層	堆積様式	母材		水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))	計
					表土	下 層 土								
				一層	二層	三層	...							
瀬越統	黄	有	有	無	CL	CL	Lic		無	-	固結火岩成	84.1	84.1	
計												84.1	84.1	

※該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガ リ 浸 蝕 の 程 度		備 考
		0	0~ 25%	25~ 50%	50% 以上	0	3mm 未 満	3~ 5mm	5mm 以上	中 程 度 の も の	大 なる も の	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2. 土 地 分 類

※該当なし

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考
	一級地 (ha)	二 級 地				三 級 地				四 級 地		
	※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)		
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※は傾斜以外の 要因によるもの

※該当なし

(第4表-2-2)

級位別 市町村名	干 拓				計 (ha)	備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)		
計	-	-	-	-	-	

3. 土 地 利 用 の 状 況

(平成26年度現在)

(第4表-3)

事業名	土 地 利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	樹園地 (ha)	茶 園 (ha)	その他 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
水利施設等保 全高度化事業 (畑地帯総合 整備事業(畑 地帯総合整備 型))	沼津市	-	-	-	84.1	-	-	-	-	-	-	-	84.1	
	合 計	-	-	-	84.1	-	-	-	-	-	-	-	84.1	

4. 土地所有の状況

(平成26年10月現在) (第4表-4)

事業名	所有別		個人所有	部落所有	市町村所有	国所有	計	備考
	区分							
水利施設等保全高度化事業 (畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))	面積 (ha)		84.1				84.1	
	受益者数 (人)		89				89	
	筆数 (筆)		734				734	
	権利関係		所有権、使用収益権				—	
	関係戸数 (戸)		89				89	
合計	面積 (ha)		84.1				84.1	
	受益者数 (人)		89				89	
	筆数 (筆)		734				734	
	権利関係		所有権、使用収益権				—	
	関係戸数 (戸)		89				89	

第3節 水利状況

1. 用水状況

防除等の農業用水は、共同の給水施設または各農家の水道水から取水し、トラック等に積載したポリタンクで運搬している。

(1) 用水系統

該当なし

(2) 用水施設 該当なし

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権 (最大)		慣行水利権		延べ取水量	備考
		10ha 以上		5~10ha		5ha 未満		箇所	ha	箇所	m ³ /S	箇所	m ³ /S	m ³ /S	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
水利施設等保全高度化事業 (畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計														
合	計														

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
合計								

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

※該当なし

(第5表-3-1)

事業名	系統名 項目	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m ³)	不足水量				平均減産量 (t)		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平均 (m ³ /S)	基準年 (m ³ /S)	平均 (千m ³)	基準年 (千m ³)			
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))										
合計		-	-	-	-	-	-	-		

(イ) その他の被害状況

※該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))							

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

※該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))				—						—	
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

2. 排水状況

※該当なし

.....

.....

.....

(1) 排水系統

※該当なし

.....

.....

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表 ※該当なし

(第5表-4)

事業名	項目		排水面積						計		排水慣行 (m3/S)	現況排水能力 (m3/S)	備考
			500ha 以上		500ha~100ha		100ha 未満		箇所	ha			
	施設名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha						
水利施設等保全高度化事業 (畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
合計													

(イ) 改修を要する施設一覧表 ※該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	施設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施設名								
水利施設等保 全高度化事業 (畑地帯総合整 備事業(畑地帯 総合整備型))	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
合計									

(3) 排水に関する被害状況 ※該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状(ha)						平均減産量		備考	
					湛水深 (m)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)		
									乾	湿	乾	湿	乾	湿				
水利施設等 保全高度化 事業(畑地帯 総合整備事 業(畑地帯総 合整備型))			平均															
			基準年															
				平均														
				基準年														
合計			平均															
			基準年															

3. 河川状況

(1) 河川の状況 ※該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m3/S)	既往最大洪水量 (m3/S)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

※該当なし

(第5表-8)

項目 河川名	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路現況

1. 道路概況

.....
 現況道路は幅員が2.0m前後で車両同士のすれ違いができないうえ、曲線が多く見通しが悪いため、低速での走行を余儀なくされており営農に支障を来している。

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
1	主要地方道沼津土肥線	静岡県	47,800			アスファルト	否	
2	一般県道船原西浦高原線	静岡県	7,600			アスファルト	否	

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(H22年現在) (第7表-1)

市町村名	項目	総	農	林	漁	鉱	建	製	電	運	飲	卸	金	不	サ	公	そ	備考
		数 (人)	業 (人)	業 (人)	業 (人)	業 (人)	業 (人)	業 (人)	業 (人)	給 水 熱 業 (人)	輸 通 信 業 (人)	食 小 売 店 業 (人)	融 保 險 業 (人)	動 産 業 (人)	ー ビ ス 業 (人)	務 (人)	の 他 (人)	
沼津市		100,487	2,269	47	502	6	7,582	23,355	583	7,618	23,997	2,848	1,699	25,529	2,315	2,137	平成22年度国勢調査	
計		100,487	2,269	47	502	6	7,582	23,355	583	7,618	23,997	2,848	1,699	25,529	2,315	2,137		
比率(%)		100.0	2.3	0.0	0.5	0.0	7.5	23.2	0.6	7.6	23.9	2.9	1.7	25.4	2.3	2.1		

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

市町村名	区分	農 家 総 戸 数	経営耕地広狭別農家数(戸)										1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の 分散状況		専兼業別 農家数(戸)			備考		
			を 例 外 規 定 の も 適 用 の 	0.3 ha ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	20.0 ha 以上	自 給 的 農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1 戸 当 り 団 地 数	団 地 当 り 面 積	専 業		兼 業	
																								第 1 種	第 2 種
沼津市		1,887	30	264	425	205	152	104	71	12	1	0	623	0.3	0.2	0.8	1.3	0.0	1.3			293	375	596	農林統計年報 第54次
計		1,887	30	264	425	205	152	104	71	12	1	0	623	0.3	0.2	0.8	1.3	0.0	1.3			293	375	596	
比率(%)		100.0	1.6	14.0	22.5	10.9	8.1	5.5	3.8	0.6	0.1	0.0	32.9									23.2	29.7	47.1	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村	動力農機具												主要家畜								備考
	乗用型 トラクター		動力 防除機		乗用型ス ピードスプ レイヤー		動力 田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏				
	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数			
	(台)	(戸)	(台)	(戸)	(台)	(戸)	(台)	(戸)	(台)	(戸)	(台)	(戸)	(頭)	(戸)	(頭)	(戸)	(頭)	(戸)	(羽)	(戸)	
沼津市	558	507	1,181	1,007	4	3	510	501	313	299			477	8	594	3	X	1			農林統計年報 第54次 及び 2005年農林業 センサス
計	558	507	1,181	1,007	4	3	510	501	313	299			477	8	594	3	0	1	0	0	
100戸当たり数量(台,頭)	110		117		133		102		105				0		0		0		0		
利用戸数割合(%)	26.9		53.4		0.2		26.6		15.8												

※ x : 統計法第14条によって秘匿扱い、または公示を
保留したもの

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名			沼津市		計		平均		作付率 (%)	備 考
総耕地 面積 (ha)			2,320		2,320		2,320			
総本地 面積 (ha)			2,227		2,227		2,227			
作物名	区分		作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10 a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10 a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10 a)		
	田	表作	水稻	391	516	391	516	391		
	裏作	レタス	4	2,574	4	2,574	4	2,574	0%	
	小 計		395		395		395			
畑	春夏作	大根	26	5,082	26	5,082	26	5,082	1%	
	秋冬作	キャベツ	13	3,531	13	3,531	13	3,531	1%	
	小 計		39		39		39			
樹園地	みかん		643	2,084	643	2,084	643	2,084	29%	
	茶		532	1,150	532	1,150	532	1,150	24%	
	小 計		1,175		1,175		1,175			
計			1,609		1,609		1,609		72%	
市町村別延べ作付率(%)			72%		72%		72%			

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域 指定等	備 考
		B (H12)	A (現在)		B (H12)	A (現在)	作物名	B (H12)	A (現在)	家畜名	B (H12)	A (現在)	農機具名	B (H12)	A (現在)		
変化 の 状況 (C年 を100 とする 指数)	総農家数	90	77	耕地	91	80	水稻	64	38	乳用牛	82	67	農用トラクター	87	81	A:現在(平成17年) (農業センサス 2005年) B:平成12年 (農業センサス 2000年) C:平成7年 (農業センサス 1995年)	
	専業農家数	79	89	田	93	85	だいこん	43	214	肉用牛	94	94	乾燥機	72	69		
	第一種兼業 農家数	83	71	畑	86	72	キャベツ	69	78	豚	0	0	田植機	79	70		
	第二種兼業 農家数	96	75	樹園地	104	71	みかん	100	5,800	採卵鶏	0	0	コンバイン	102	107		
	農 業 従事者数	97	79				茶	80	65								
変化 の 理由	農業従事者の高齢化及び 後継者の農業離れ			基盤整備等による変化			営農形態の変化 ※ トマト、いちご、すいかにつ いて、AとCの対比となるが、A には、施設栽培品が含まれた数 値で、Cは品種ごとの施設栽培 面積の別がないため、露地栽培 のみの数値である。このため、 正確な比較となっていない。(現 在露地栽培は殆んどない)			生産環境の変化			労働力不足による大型機械の 導入				

第6節 地域環境の概況

※ 該当なし

第4章 一般計画
第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本地区は沼津市の南西部に位置する柑橘類を栽培する樹園地帯である。地区内の道路は幅員が狭く、農業車両のすれ違いが出来ない状況である。防除用水は、谷溪等を水源とした給水スタンド等の用水施設を利用しているが、施設の老朽化が進展している状況である。また、果樹は鳥獣の被害を受けている。

このため道路の改良と用水施設、鳥獣害防止柵の整備を行うことにより、営農経費の節減と農業経営の安定を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名	水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))						計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
農道工	-	-	-	(78.5)	-	(78.5)	(78.5)	鳥獣害と重複
用水路工	-	-	-	(53.4)	-	(53.4)	(53.4)	鳥獣害と重複
鳥獣害防止施設整備	-	-	-	84.1	-	84.1	84.1	
計	-	-	-	84.1	-	84.1	84.1	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区は樹園地における柑橘類を主体とした営農を行っている。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	区分												
農道工	現況	-	-	-	(78.5)	-	-	(78.5)	-	-	-	(78.5)	鳥獣害防止施設と重複
	計画	-	-	-	(78.5)	-	-	(78.5)	-	-	-	(78.5)	〃
用水路工	現況	-	-	-	(53.4)	-	-	(53.4)	-	-	-	(53.4)	鳥獣害防止施設と重複
	計画	-	-	-	(53.4)	-	-	(53.4)	-	-	-	(53.4)	〃
鳥獣害防止施設整備	現況	-	-	-	84.1	-	-	84.1	-	-	-	84.1	
	計画	-	-	-	84.1	-	-	84.1	-	-	-	84.1	
計	現況	-	-	-	84.1	-	-	84.1	-	-	-	84.1	
	計画	-	-	-	84.1	-	-	84.1	-	-	-	84.1	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	地目	区分 作物	1 年 目												2 年 目																							
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月												
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))	現況	樹園地	みかん											×	—	×																			×	—	×		
	計画	樹園地	みかん													×	—	×																			×	—	×

播種○ 移植△ 接ぎ木◇ 定植◎ 収穫×

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	地目名	項目 作物名	作付・面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当り収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳		備考
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減量 (t)	単位面積当り収量増加	
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業)	樹園地	みかん(極早生)	16.1	16.1	-	19.1	19.1	2,198	2,308	110	353.9	371.6	17.7		17.7	全体受益(鳥獣害防止柵)
		みかん(早生)	2.2	2.2	-	2.6	2.6	2,198	2,308	110	48.4	50.8	2.4		2.4	〃
		みかん(青島)	25.4	25.4	-	30.2	30.2	2,124	2,230	106	539.5	566.4	26.9		26.9	〃
		みかん(寿太郎)	40.4	40.4	-	48.0	48.0	2,124	2,230	106	858.1	900.9	42.8		42.8	〃
	樹園地	みかん(極早生)	10.2	10.2	-	19.1	19.1	2,198	2,198	-	224.7	224.7	-			うち用水受益
		みかん(早生)	1.4	1.4	-	2.6	2.6	2,198	2,198	-	30.7	30.7	-			〃
		みかん(青島)	16.1	16.1	-	30.2	30.2	2,124	2,124	-	342.6	342.6	-			〃
		みかん(寿太郎)	25.7	25.7	-	48.0	48.0	2,124	2,124	-	544.9	544.9	-			〃
	樹園地	みかん(極早生)	15.0	15.0	-	19.1	19.1	2,198	2,198	-	330.3	330.3	-			うち農道受益
		みかん(早生)	2.1	2.1	-	2.6	2.6	2,198	2,198	-	45.1	45.1	-			〃
		みかん(青島)	23.7	23.7	-	30.2	30.2	2,124	2,124	-	503.6	503.6	-			〃
		みかん(寿太郎)	37.7	37.7	-	48.0	48.0	2,124	2,124	-	801.0	801.0	-			〃
	計		84.1	84.1	-	100.0	100.0				1,799.8	1,889.7	89.9			

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 地目名	作物名	作付面積	単位面積当り労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))	樹園地	みかん	84.1	人力	213.1	212.8	△ 0.3	鳥獣害防止施設受益
				機械	11.4	11.4	0.0	
	樹園地	みかん	(53.4)	人力	213.1	204.4	△ 8.8	用水受益
				機械	11.4	11.4	0.0	
	計		84.1					

6. 級地別土地利用区分 ※該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成					干拓					備考
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	普通畑											
	牧草畑											
	樹園地											
	(果樹園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画 ※該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)								備考	
		田	輪換耕地	畑							計
				普通畑	牧草畑	樹園地					
増反											
入植											

第3節 用水計画

1. 計画基準 ※該当なし

2. 計画かんがい方式 ※該当なし

3. 計画用水系統 別紙参照

4. 計画用水量

(1) かんがい用水 ※該当なし

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha) 事業名	水田かんがい			畑地かんがい			田畑輪換					消費水量 (m ³ /S)	損失量 (m ³ /S)	粗用水量		備考
			普通期	代掻期	面積	1日当り 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積	水田かんがい			畑地かんがい						
									普通期	代掻期	面積	普通期	代掻期			面積	1日当り 計画平均 かん水深 (mm/日)	
			計画平均 単位用水 量 (mm/日)	計画代掻 単位用水 量 (mm/日)	積	計画平均 単位用水 量 (mm/日)	計画代掻 単位用水 量 (mm)	積	普通期	代掻期	面積	1日当り 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)			面積		
計																		

(2) 営農飲雑用水

※該当なし

(第10表-1-2)

区 分	利用目的	対 象 面 積			日 当 り 給 水 量		補給回数	関係戸数	備 考
		事 業 名			単 位 給 水 量	最 大 給 水 量			
				計					

5. 水 源 計 画

(1) 水 利 用 計 画

※該当なし

(第10表-2)

項 目 区分	消費水量 a (千m3)	有効雨量 b (千m3)	純用水量 c=a-b (千m3)	粗用水量 d=α(1-a) (千m3)	現 況 利 用 可 能 水 量			不 足 量		水 源 保 存 量		水 源 工 種	備 考
					水 源 名	取 水 地 点 利 用 可 能 量 e (千m3)	田 畑 面 利 用 可 能 量 f (千m3)	純不足量 g=c-f (千m3)	全不足 水 量 h=d-e (千m3)	水 源 名	水 量 (千m3)		

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 ※該当なし

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (ha)		かんがい面積 (ha)		有効貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接	事業名						
			水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))	計					

(イ) 井堰及び自然取入口 ※該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設	河川名	流域面積	かんがい面積 (ha)			取水量		渇水量 (m ³ /s)	備考
			水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))			最大 (m ³ /s)	平均 (m ³ /s)		
			地区内	地区外	計				

(ウ) 揚水機 ※該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量		揚水機				備考
		農地整備事業(畑地帯担い手支援型)			最大 (m ³ /s)	平均 (m ³ /s)	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
		地区内	地区外	計							
計											

(エ)用 水 路

(第10表-6)

項 目 名 称	か ん が い 面 積 (ha)			最 大 通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	備 考
	水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))						
	地区内	地区外	計				
パイプライン	53.4		53.4	0.004	250	硬質塩化ビニル管	管水路工(直径100mm)

(オ)その他の水源 ※該当なし

(3)水温水質 ※該当なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量 ※該当なし

2. 計画排水方式 ※該当なし

3. 計画排水系統 ※該当なし

4. 排水量 ※該当なし

(第11表-1)

排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (ha)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m3/s)		基底流量 (m3/ha)		全洪水量 (m3/s)			単位排水量 (m3/s/ha)		備考
	水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))			山地	平地		山地	平地	山地	平地	平地		山地	平地		
			計								自然排水	機械排水				
計																

5. 排水対策

(1) 排水水門 ※該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水本川			備考
		水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))			排水量 (m3/S)	地区内たん水深 (m)	名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
				計						

(2) 排水機 ※該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機				備考
		水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))			排水量 (m3/S)	地区内湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
		農地	その他	計							

(3) 排水路 ※該当なし

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計排水量 (m3/S)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))						名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
		農地	その他	計							
計											

(4) その他

6. たん水検討 ※該当なし

(第11表-5)

系統名	受益面積 (ha)	計画洪水量 (m3/S)	既設排水能力 (m3/S)	必要排水能力 (m3/S)	排水方式	標高			湛水状況(許容湛水位以上)			備考
						田面標高	計画外水位	最高外水位	最大湛水面積	計画内水位	最大湛水時間	

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項目 路線名	幅員 × 延長 (有効) × (m)	構造	既設道路との関係	備考
幹線農道	5.5(4.5) ~ 4.5(4.0) × 2,523	As	拡幅改良	幹線1号L=2,523m
支線農道	3.0(2.5) ~ 2.5(2.0) × 4,969(変更前) × 4,964(変更後)	As	拡幅改良・舗装改良	支線1号L=273m, 支線2号L=740m, 支線3号L=1,054m, 支線4号L=1,120m 支線5号L=167m, 支線6号L=292m, 支線7号L=494m, 支線8号L=829m(変更前) 支線5号L=162m(変更後)

(2) 索道 ※該当なし

(第12表-2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図

※該当なし

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画 ※該当なし

(第13表-1)

項目 地目名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

2. 土壌改良 ※該当なし

(第13表-2)

項目 区分	面積	土壌	pH		置換酸度 (V ₁)	リン酸吸収 係数 (ma/100a)	ha 当り 所 要 量			備考
			H ² O	KCI			石灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量 ※該当なし

2. 計画洪水量及び調節量 ※該当なし

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節の量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3. 貯水池 ※該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積		計画洪水量 (m ³ /s)	貯 水 量			計画調節 流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接 (km ²)	間接 (km ²)		有効 (千m ³)	洪水調節容量 (千m ³)	多目的 (千m ³)			

4. 洪水調節検討

- (1) 河川改修計画との関係 ※該当なし
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 ※該当なし
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 ※該当なし

5. 管理計画

- (1) 管理機構 ※該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準 ※該当なし
- (3) 洪水調節要領 ※該当なし

第8節 干拓計画

※該当なし

(第15表)

項 目 名 称	延 長 (m)	計 画 高 潮 水 位 (T.P.m)	風 向 及 び 対 岸 距 離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画形状

※該当なし

(第16表-1)

長 辺 × 短 辺	区 画 面 積 (ha)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 差 (cm)	備 考

(2) 表土扱い

※該当なし

(第16表-2)

面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m3)	備 考

(3) 末端道水路配置図

..... ※該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

※該当なし

(第16表-3-1)

区分	項目	面積 (ha)			土壌統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方式	備考
		事業	業名	計						

(2) 心土破砕

※該当なし

(第16表-3-2)

区分	項目	面積 (ha)			土壌統(区)名	土壌硬度	備考
		事業	業名	計			

3. 客土

※該当なし

(第16表-4)

区分	項目	面積 (ha)			土壌統(区)名	減水深(mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当り客土量 (m3)	土壌の性質		備考
		事業	業名	計		現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地(%)	採土地(客土材料)(%)	

4. 農地保全

(1) 防災林

※該当なし

(第16表-5-1)

区分	項目	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工

※該当なし

(第16表-5-2)

区分	項目	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
					単位排水量 (m3/s/ha)	全排水量 (m3/s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

※該当なし

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量 ※該当なし

(2) 計画洪水量 ※該当なし

2. 堤体補強計画 ※該当なし

3. 取水施設改修計画 ※該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

※該当なし

(第17表-1)

名称		位置								
堤体	型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	基盤・地盤地質	貯水量 (千m ³)		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)	

2. 頭首工

※該当なし

(第17表-2)

名称		位置							
型式	堤体 (m)	堤長 (m)			取水位 (m)	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	備考	
		固定部	可動部	計					

3. 揚水機

※該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /S)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径(mm)	台数(台)	型式	動力	台数(台)	

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	支配面積 (ha)			通水量 (m ³ /S)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業(畑地帯総合整備型))				総延長	開渠	その他				
	地区内	地区外	計								
用水路工	53.4		53.4	0.0035	250			VPφ100			
計	53.4		53.4		250						

5. その他のかんがい施設

※該当なし

(第17表-5)

項目 施設名	構造	規模	数量	備考

第2節 排水施設

1. 排水水門

※該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /S)	備考

2. 排水機

※該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /S)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力	台数 (台)	

3. 排水路

※該当なし

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m ³ /S)	延長 (m)			構造	備考
	地区内	地区外	計		総延長	開水路	その他		
	幹線排水路								
支線排水路									
計									

4. その他排水施設

.....
※該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅員(m) × 延長(m)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 勾 配 (%)	同 左 の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
	幹線1号農道	5.5~4.5×2,523	アスファルト舗装				19		15	新設+拡幅改良
	支線1号農道	2.55× 273	〃				16		5	拡幅改良
	支線2号農道	3.0× 740	〃				22		5	拡幅改良
	支線3号農道	3.2~5.3×1,054	〃				18		5	拡幅+舗装改良
	支線4号農道	3.0~5.3×1,120	〃				14		5	拡幅改良
	支線5号農道	3.0~5.2× 167 (162)	〃				12		5	拡幅改良
	支線6号農道	2.4~4.6× 292	〃				18		5	拡幅+舗装改良
	支線7号農道	2.5~5.2× 494	〃				9		5	拡幅+舗装改良
	支線8号農道	2.2~5.2× 829	〃				13		5	拡幅+舗装改良
	合 計	7,492 (7,487)								()内は変更後数字

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考
幹線1号農道	橋梁		11.3	1	

2. 索 道

※該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成工

(1) 抜 根

※該当なし

(第20表-1)

項目 区分	樹 種	樹 径 (cm)	ha 当り本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(2) 除 礫

※該当なし

(第20表-2)

区 分	項 目	対 象 土 層 の 厚 さ (cm)	ha 当 り 平 均 除 礫 量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
	計					

(3) 開 墾 作 業

※該当なし

(第20表-3)

区 分	項 目	面 積 (ha)	工 法	備 考
	地 目			
	造 成 工 法			
	計			

(4) 地 目 変 換

※該当なし

(第20表-4)

区 分	項 目	面 積 (ha)	工 法	備 考
	計			

(5) 末 端 用 水 路 等

※該当なし

(第20表-5)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
	計				

(6) 末 端 排 水 路 等

※該当なし

(第20表-6)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
	計				

2. 土 壤 改 良

※該当なし

(第20表-7)

区 分	項 目	面 積 (ha)	石 炭 量 (t)	りん 酸 質 資 材 量 (t)	有 機 質 資 材 量 (t)	備 考
	計					

第5節 洪水調整機能

1. 貯水池 ※該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工 ※該当なし

(第21表-1)

名称			位置		長 (m)		計画洪水位 (m)	付帯施設備	備考
	集水面積 (knf)	堤高 (m)	固定部	可動部	計				
型式									

(2) 導水路 ※該当なし

(第21表-2)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		総延長	トンネル	その他			

第6節 干拓施設

1. 堤防 ※該当なし

(第22表-1)

項目 名称	型式 (m)	延長 (m)	構造				原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土高 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	

2. 潮止め ※該当なし

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 付属施設

..... ※該当なし

4. 埋立 ※該当なし

(第22表-3)

項目 名称	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理 ※該当なし

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 千m ³	面積 (ha)	土量 千m ³	

(2) 末端用水路等 ※該当なし

(第23表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(3) 末端排水路等 ※該当なし

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

※該当なし

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)			集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
	事業名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
			計														

(2) 心土破碎

※該当なし

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

3. 客土

※該当なし

(第23表-5)

項目 区分	面積 (ha)			客入土量 (m3)	土取場土量 (m3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名							
			計					
計								

4. 除礫

※該当なし

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

5. 農地保全

(1) 防災林

※該当なし

(第23表-7)

区分 \ 項目	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植 栽 本 数 (本)	備 考
計						

(2) 排水路

※該当なし

(第23表-8)

区分 \ 項目	延 長 (m)	流 量 (m ³ /s)	構 造	備 考
計				

(3) 侵食防止工

※該当なし

(第23表-9)

名称 \ 項目	構 造	数 量	備 考
計			

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

※該当なし

(第24表)

名称		位置						
堤体	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m)	堤長幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	備考

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設 ※該当なし

(2) 漏水防止工 ※該当なし

第6章 付帯工事計画

本地区では、受益地背後に広がる達磨山麓に生息する野生動物によって年間を通じて食害による被害が発生している。これに対し地元
 猟友会等により有害鳥獣駆除を行っているものの、依然として被害が発生しており、近年は集落側へ被害範囲が広がりつつある。
 よって、本事業により受益地外周に鳥獣害防止柵を設置し、農作物被害を防止するとともに、被害対策に要する営農労力を低減する。

名称	施設内容	規模	対象動物等の状況	施設の現状	備考
鳥獣害防止施設	鳥獣害防止柵	L=15,000m	①イノシシ 被害は年間を通して発生しており柑橘類の食害が多発している。捕獲数は年々増加しているが体数は依然として減少していないと推定され、今後さらなる被害の拡大が懸念される。 ②ニホンジカ 年間を通して果樹の苗木等の食害が発生している。	個別に一部の農地の周囲に設置	

第7章 工事の着手及び完了予定時期

着手：平成 27 年度

完了予定：平成 36 年度 (令和 12 年度)

第8章 環境との調和への配慮

本地区は沼津市南西部の駿河湾に接した、伊豆半島の山間部に位置する樹園地帯である。標高は20～240m程度の急傾斜な樹遠地帯で、年間平均気温は15.6℃、平均降雨量は1,864mmで温暖な気候と自然環境に恵まれている。本計画では地域に生息する希少動物の生息と景観の保護を行うため、道路計画に当たっては極力擁壁の高さを抑えるとともに、道路横断することが容易な構造にすることで小動物に配慮する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方。

※該当なし

.....

.....

.....

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

※該当なし

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)	備考
計		-	

2. 換地区を設定する理由

※該当なし

.....

.....

3. 農用地集団化の方針

※該当なし

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法			備考
		位置の選択方法	1戸当り目標団地数	区画畦畔の取扱い	

4. 非農用地換地の方針

※該当なし

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概要	面積 (㎡)	換地の手段	換地取得予定者	備考

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

..... ※該当なし

2. 清算の方法

..... ※該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

※該当なし

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考

第6節 換地処分の時期に関する特則

※該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

1,994,000
2,092,800
事業費 4,013,148 千円
総事業費 4,213,000 千円

内 訳

区 分 \ 項 目	数 量	事 業 費	備 考
1. 工 事 費	1.0 式	1,462,496 千円 3,069,616	
農 道 工	1.0 式	1,303,734 2,844,816	
用 水 路 工	1.0 式	6,762 9,700	
鳥 獣 害 防 止 施 設	1.0 式	152,000 215,100	
2. 用 地 買 収 補 償 費	1.0 式	323,645 434,532	
3. 測 量 試 験 費	1.0 式	207,859 509,000	
事 業 費	1.0 式	1,994,000 4,013,148	
4. 地 方 事 務 費	1.0 式	98,800 199,852	
総 事 業 費	1.0 式	2,092,800 千円 4,213,000	

第11章 効 用

(第27表)

事業名	区 分	年総効果(便益)額 (千円)		年増加農業所得額 (千円)		備 考
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業)	営農に係る走行費用節減効果 ※農道工	71,859	117,255	71,859	2,957	総費用(現在価値化) (千円)
	維持管理費節減効果 ※農道工	△96	△131	△96	△135	当該事業による費用 1,592,524 3,610,719
	品質向上効果 ※農道工	6,288	7,810	6,288	7,810	その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)
	営農経費節減効果(防除用水) ※用水路工	7,393	8,893	7,393	-	計 274,382 393,083
	維持管理費節減効果 ※用水路工	△150	△179	△150	-	計 1,866,906 4,003,802
	作物生産効果 ※鳥獣害防止柵	14,117	21,367	14,869	21,367	
	営農経費節減効果 ※鳥獣害防止柵	453	544	453	544	
	維持管理費節減効果 ※鳥獣害防止柵	△285	△343	△285	△343	
	維持管理費節減効果 ※国産農作物安定供給効果	0	1,419	-	-	
	計	99,579	156,635	100,331	32,200	総費用総便益比 1.10 1.18
	総便益額(現在価値化)	2,067,798	4,754,858	-	-	

第12章 関連する事業

※該当なし

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容

第13章 現況・計画図面

1. 位 置 図	(1 / 25,000)
2. 計画一般図(農道・用水路・鳥獣害防止施設)	(1 / 4,000)
3. 土地利用計画図	(1 / 4,000)

